

小山台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（「家基705 家庭基礎 気づく力 築く未来」（実教出版））

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それらの技能を修得する。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・実践、考察するなどして、生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それらの技能を修得する。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・実践、考察するなどして、生活の課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体に創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容				評価規準	知	思	態	配当 時数
			A	B	C	D					
1 学 期	第2章 自分らしい生き方と家族 1. 「オトナ」になるってどういうこと？ 「18歳成年」の理解を深める。 2. 「家族」ってなに？ 多様化する「家族」の形と「世帯」 の変化を知る。 3. 「ワーク・ライフ・バランス」を 実現するためには 雇用形態と変化と「ワーク・ライ フ・バランス」について学ぶ。	1. 自立の種類とそれぞれの具体的な 内容を把握して、不足している点を考 えさせる。 2. 「家族」とは何かについて考え させ、多様化する「家族」について も理解する。 3. 「ワーク・ライフ・バランス」を 実現するためにはどうしたらよいか 考えさせる。	○				1. 自立度チェックをして現在の自 分の現状を知り、「オトナ」なるた めには何が必要かを考えてレポ ートにまとめることができたか。 2. 図表などから家族の形、家庭 のあり方や役割について考えを 深め、表現することができたか。 3. 男女共同参画社会など、現在 の社会状況に興味を持ち、他者 と話し合い、様々な価値観を知 ろうとする態度があったか。	○	○	○	7
	第3章 子どもとかわる 1. 子どもの発達 子どもの心身の発達と特徴につ いて理解する。 2. 子どもの生活 子どもの基本的な生活習慣と社 会的な生活習慣の身につけ方を 学ぶ。 3. 子どもを育てるのは誰？ 「ワンオペ育児」と認定こども 園について学ぶ。	1. 保育人形、実物大掲示物、DVD 教材を用い、子どもの発達のイメ ージをつかませる。 2. DVD教材を用い、基本的な生 活習慣を子どもに身につけさせ るためにはどうしたらよいか、 また子どもにとって遊びが重 要であることを理解する。 3. DVD教材を用い、ワンオペ 育児にならないために、保育 施設やサポート施設の利用も考 えさせる。	○				1. 子どもの心身の発達の順番 や「愛着」行動や「第一反抗期」 についての知識が身についたか。 2. 子どもの発達別の接し方や 子どもに対して一人の人間とし て接することの重要性を理解 できたか。 3. 共働き夫婦の「ワーク・ライ フ・バランス」の課題や「ワン オペ」育児の解消に向けて、自 分なりの考えをもつことが できたか。	○	○	○	10

	第7章衣服の構造・デザイン 1. 衣服の構造・デザイン 衣服製作を通して縫製技術を身につける。	1. エプロン製作 半縫製済エプロンキットで手縫いの基礎縫い技術を身につける。 〔ボタン付け、こしひもつけ(本返し縫い)、すそ縫い(まつりぬい)〕					1. 材料の選択や基礎縫い・アイロンかけなど、一人暮らしに必要な被服技術が修得できたか。 また、実習に積極的に取り組み、作品の出来栄が良かったか。					9
夏季休業中	ホームプロジェクト ・生活の中でよりよく暮らすための課題を見つけ、解決方法を考えて実践してレポートとして提出する。	生活を見直し、解決方法を考え、実践して考察する。実践記録はレポート用紙にまとめ、資料をTeamsで提出する。					自分の家庭や地域の生活を見直して課題を見つけ、その解決方法を考えて実践し、その結果や考察したことを実践記録にうまくまとめられているか。					6
2 学期	第7章 衣服の構造・デザイン 1. 衣服の構造・デザイン ポケット布に「刺し子」か「刺しゅう」をして、本体にポケットをミシンで縫い、仕上げをする。	1. エプロン製作(続き) ポケットに刺し子か刺しゅうのアレンジをする。ミシンを使用してポケットを縫いつけ、仕上げをする。					1. 刺し子や刺しゅうにより自己表現ができており、ミシンの基本的な使い方や糸の始末など、被服技術が修得できたか。 実習に積極的に取り組み、作品の出来栄が良かったか。					8
	第6章 食生活をつくる 1. 食生活チェックしてみよう! 現在の食生活をチェックして生活習慣病やBMIと体脂肪との関連について学ぶ。 2. 栄養と食品の関わり 5大栄養素と多く含む食品について学ぶ。 3. 献立作成と調理 自分の献立や家族の献立作成を学び、調理実習を行い、実践する。 4. これからの食生活について 食料自給率や食品ロス、フードマイレージなどの問題について学ぶ。	1. 高校生はやせが多いが40代以降肥満が多くなる要因について学ぶ。 2. 5大栄養素の働きについて知識を深めるとともに、自分で食品を選択できるようにする。 3. 献立作りを通して、摂りたい栄養素を食品の選択や調理方法で調節できる力を養う。 また、調理の基本を学び、衛生的で安全な調理実習ができるようにする。 4. 映像を見せながら、食品ロスなどの環境問題が自分とつながっていることを理解させる。					1. 自分の食生活が健康と密接に関係しており、今後改善すべきことを理解できたか。また、自らのBMIの計算式を理解できたか。 2. 5大栄養素はつながっているのか、色々な食品をバランス良く食べることの重要性が理解できたか。 3. 家族のために献立をたてる際に注意すべき点を理解できたか。調理の基本を学び、班員と一緒に協力しながら実践できたか。 4. 日本の食料事情の実態を理解して、その解決策を考え、自分なりに問題解決に向けて行動しようとしているか。					20
	定期考査											1
3 学期	第8章 住生活をつくる 1. 一人暮らしの住まいを借りる 住まいを借りるために必要な知識を身につける。 2. 理想の部屋を作ってみよう! 自分の部屋を作ってみる。	1. 1DKと1Rの違いや付帯設備の「BT別」や「室内選」、日照、敷金と礼金の違いや契約に必要なお金などについて学ぶ。 2. ワークシートを使って自分の部屋をコーディネートしてみる。					1. 部屋の間取りについて理解できて、予算にあわせた部屋を選ぶことができたか。 2. 理想の部屋をつくることができたか。また安全な家具の配置や動線の確保、ドアや引き戸の違いについて学ぶことができたか。					3
	第9章 消費行動を考える 1. 契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 2. 将来必要なお金について学ぶ。 3. 悪質商法のトラブルと契約解除の方法について学ぶ。	1. クレジットカードの支払方法や問題商法を映像を視聴しながら学ぶ。 2. 一生にかかるお金を試算して、日々の家計管理と関連づけて学ぶ。 3. 消費者ホットライン「188」や未成年者取消権などを理解する。					1. クレジットカードのリボ払いと分割払いの違いやマルチ商法などについて学ぶ。 2. 貯蓄と投資の違いを理解して、ライフイベントにあわせた資産運用の知識を持てたか。 3. 18歳成年になり、悪質商法を自分で対処できる知識を得ることができたか。					14 (8+6)
	総 合 「人生ゲーム」 人生ゲームを制作する。	人生についてテーマを自由に設定して、ゲーム形式で画用紙に描く。					ペン書きで自由に描く。ゲームとして興味が湧くような内容で製作できたか。投票によって優秀作品を選出する。					合計 78